

みんなで考えよう！県立高校のみらい

地域意見交換会 次第

1. 開会 （18時～）
 - ・挨拶
 - ・地域意見交換会の目的について
2. 情報提供 （18時10分～）
 - ・あり方検討会における議論の状況等について
 - ・質疑応答
3. チェックイン （18時35分～）
 - ・グループで時計回りに自己紹介
4. ワールドカフェ ワークショップ
 - ・各ラウンド（15分）×3ラウンド

「ワールドカフェ」とは、
少人数のテーブルごとに、メンバーチェンジをしながら、
なるべく多くの人と、ざっくばらんに話す手法です。

【テーマ】「**10年後、この地域にあって欲しい高校の姿**」を考える

5. チェックアウト（19時30分）
6. 閉会 （19時45分）
 - ・振り返りアンケート記入（紙または、QRからフォームへ）

（添付資料）

通番	ページ数	内容
1	P 1～11	【情報提供】あり方検討会における議論の状況等について
2	P12～24	参考資料
3	P25	熊本県立高校の魅力発信！！
4	P26	第3回熊本スーパーハイスクール（KSH）全体発表会 「県立高校 学びの祭典」
5	P27, 28	熊本県の県立高校入試が変わります
6	P29	令和7年度（2025年度）熊本県育英資金在学募集
7	P30	令和6年度（2024年度）熊本県奨学のための給付金

【情報提供】

あり方検討会における議論の状況等について

- 1 これまでの経緯
- 2 県立高校の現状と課題
- 3 あり方検討会における議論の状況（論点①～④）

1 これまでの経緯

H16
)
H17

県立高等学校教育整備推進
協議会（外部有識者会議）

報告

- ・適正規模4～8学級程度を目安に再編整備を進める必要
- ・通学区域の段階的拡大が望ましい 等

H19
)
H30

再編整備計画に基づく
再編統合

●県立高校数	61校	→	50校
●通学区域	8学区	→	3学区
●学区外枠	6.5%	→	13%

R2

県立高等学校あり方検討会
（外部有識者会議）

提言

- ・適正規模の考え方は一旦留保
- ・R3～R6の4年間は、新たな再編統合は行わず、魅力化に注力 等

R3
)
R6

あり方提言に基づく取組

魅力ある学校づくりに向けた
14の取組の実施

R7年度以降の県立高校のあり方について、概ね10年先を見据えた検討必要

【参考】 県立高校あり方検討スケジュール

R 6 年度

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

検討会開催

第1回
会議

第2回
会議

地域意見交換会（県内25ヶ所程度）

第3回
会議

R 7 年度

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

検討会開催

第4回
会議

第5回
会議

提
言
書
提
出

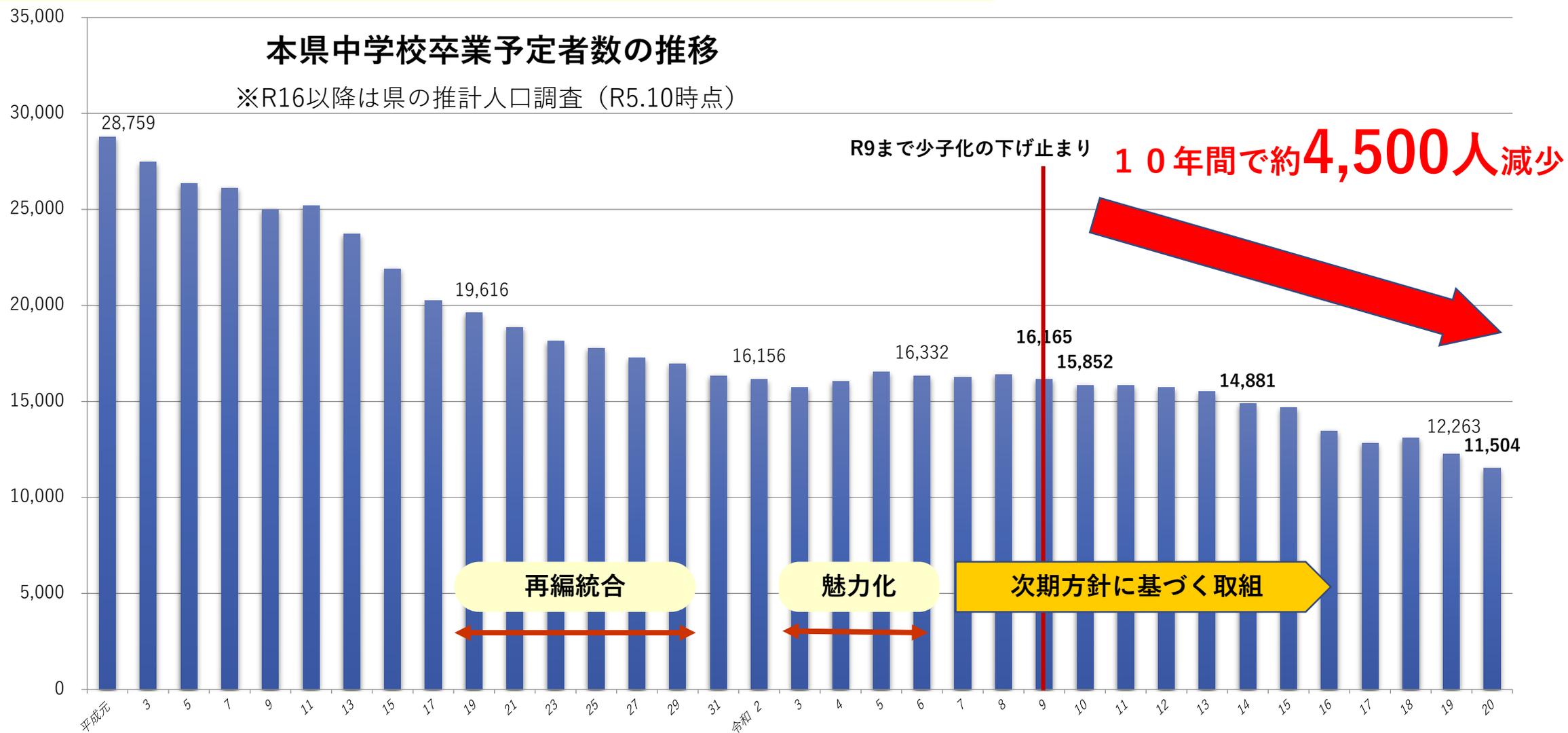
次
期
方
針
案
公
表

パブリックコメント・各種調整

次
期
方
針
策
定

2 県立高校の現状と課題

中学校卒業予定者数の減少



■ R6 募集定員 における 1 学年学級数別、学区ごと高校一覧とR16定員割れの見込み

													A	B	
R6	1 学級	2 学級	3 学級	4 学級	5 学級	6 学級	7 学級	8 学級	9 学級	10 学級	学校数	学級数	総計 A+B	定員割れ数/40 (クラス相当数)	R16-R6 中学卒業生数変化 (クラス相当数) ×0.70
旧熊本				湧心館			熊本農業		第一	済々覺	11	96	▲ 22	▲ 3	▲ 19
								熊本北	熊本	第二					
								熊本西	熊本	工業					
								東稜	熊本	商業					
旧宇上			矢部 甲佐	松橋	小川工業	御船 宇土					6	27	▲ 14	▲ 10	▲ 4
県央計											17	123	▲ 36	▲ 13	▲ 23
旧荒玉			岱志	北稜		玉名工業	玉名				4	20	▲ 10	▲ 6	▲ 4
旧菊鹿			鹿本農業	鹿本商工	菊池農業	鹿本	翔陽	大津			7	38	▲ 13	▲ 9	▲ 4
					菊池										
旧阿蘇		小国					阿蘇中央				3	11	▲ 7	▲ 5	▲ 2
		高森													
県北計											14	69	▲ 30	▲ 20	▲ 10
旧八芦	泉分校		芦北	八代東	八代清流	八代	八代工業				8	35	▲ 17	▲ 10	▲ 7
			八代農業			水俣									
旧球磨	五木分校			球磨中央	球磨工業		人吉				5	22	▲ 11	▲ 6	▲ 5
					南稜										
旧天草	倉岳校		牛深	上天草	天草工業	天草	天草拓心				6	26	▲ 16	▲ 11	▲ 5
県南計											19	83	▲ 44	▲ 27	▲ 17
県全体	学校数	3	2	7	7	7	7	1	5	4	50	-	-	-	-
	学級数	3	4	21	28	35	42	49	8	45	40	275	▲ 110	▲ 60	▲ 50

※▲はマイナスの意味、A,Bに関する詳細説明はスライド16~19参照 5

～経緯や現状・課題を踏まえて～

県立高校50校
の維持は困難

相反する課題

高校は
地域になくてはならない存在

通学可能な範囲に高校が必要

今後の県立高校のあり方を
どう考えるか？

3 あり方検討会における議論の状況

【あり方検討会 論点①】 募集定員の見直しの考え方

【議論のポイント】

中学校卒業生数の減少



県全体で募集定員の見直しが必要？

- ・ 熊本市内の高校
- ・ 熊本市外の高校
- ・ 定員割れ継続校

それぞれの募集定員をどのように考えていくか



【第2回検討会での方向性】

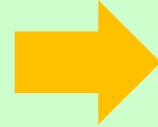
- ・ 熊本市内の大規模校を含めた見直しが必要ではないか。
- ・ 少人数学級編制（1学級40人未満）の導入検討が必要ではないか。

【あり方検討会 論点②】適正規模の考え方

【議論のポイント】

4 ～ 8 学級

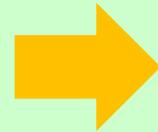
H19からの再編整備計画での県の方針



原則

3 学級以下は再編統合

近年の変化（ICTの活用等）



小規模校でも教育の充実可能

一律に適正規模を決めることには無理が生じている？



【第2回検討会での方向性】

一律の適正規模は定めないこととするのがよいのではないか。

【あり方検討会 論点③】分校化又は統廃合の基準について

【議論のポイント】

- 教育の質を保障するため、学校規模の最低基準が必要
- 基準をクリアすれば学校存続が可能とも言える



【第2回検討会での方向性】

目標となる明確な基準があれば、地域と一体となって学校存続に取り組めるのではないか。

【あり方検討会 論点④】通学区区域・学区外枠の考え方

【現状】

- 通学区区域（3学区） ※普通科のみ（普通科のコース除く）
- 学区外枠（13%）

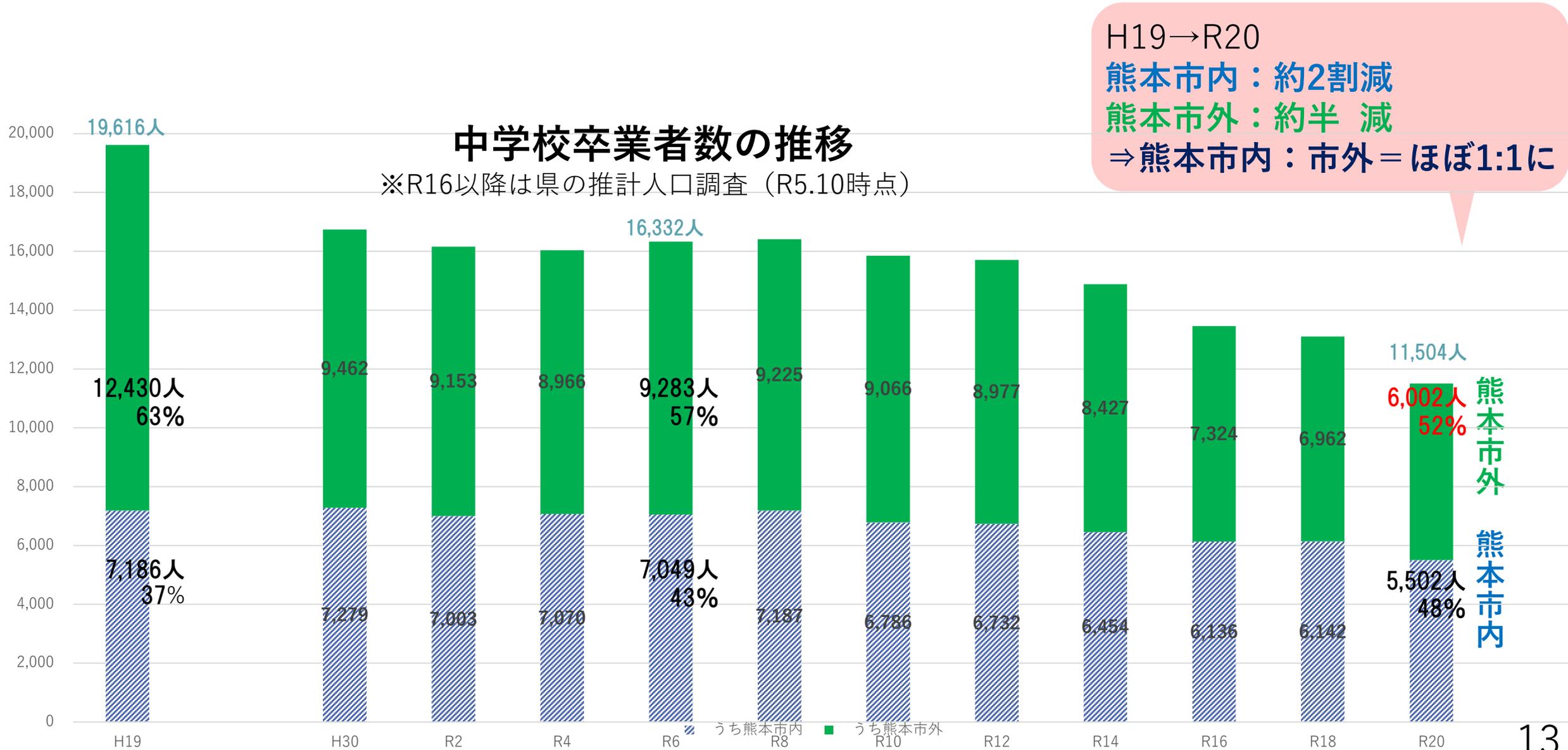


【第2回検討会での方向性】

- ・ 方向性：出されなかった
- ・ 意見：全県一区にすべき（制限なく受検可能にする）
学区制を維持すべき（熊本市内への集中、地域の衰退を防ぐ）

【参考資料】

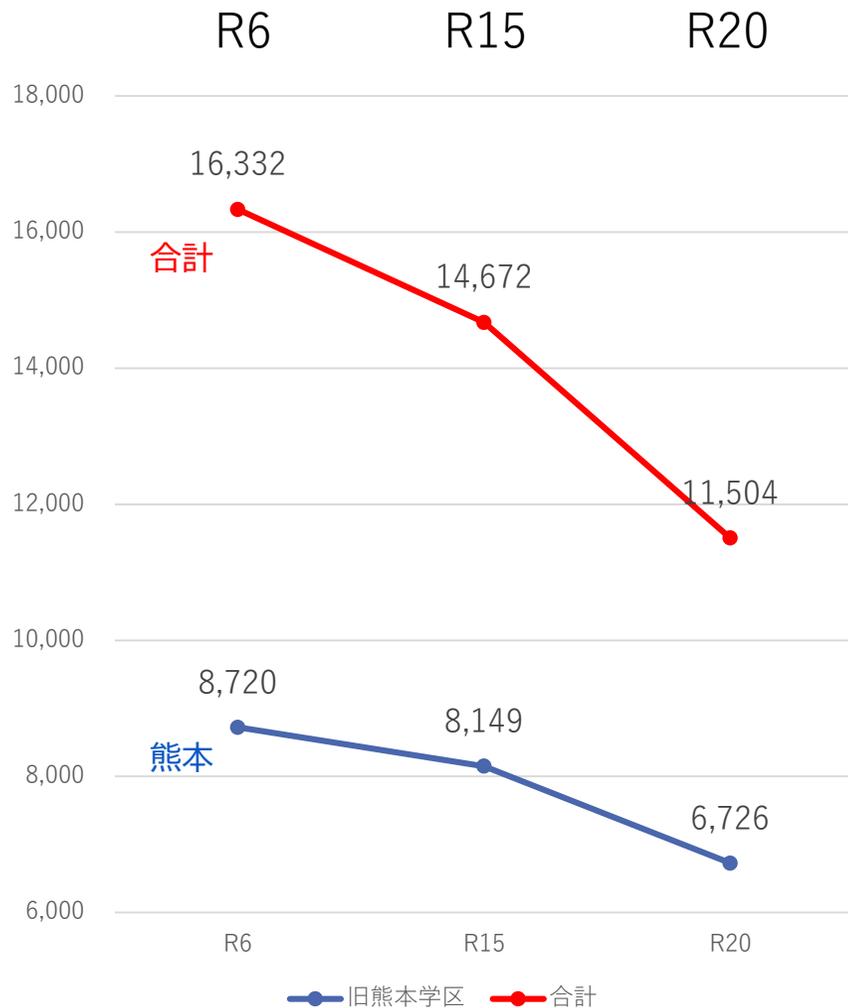
【参考資料 1】 熊本市外の中学卒業予定者数減少の加速



【参考資料2】 中学校卒業生数（旧学区別）

※元号は中学校卒業年
R20：県推計人口調査（R5.10時点）より

県全体、旧熊本学区

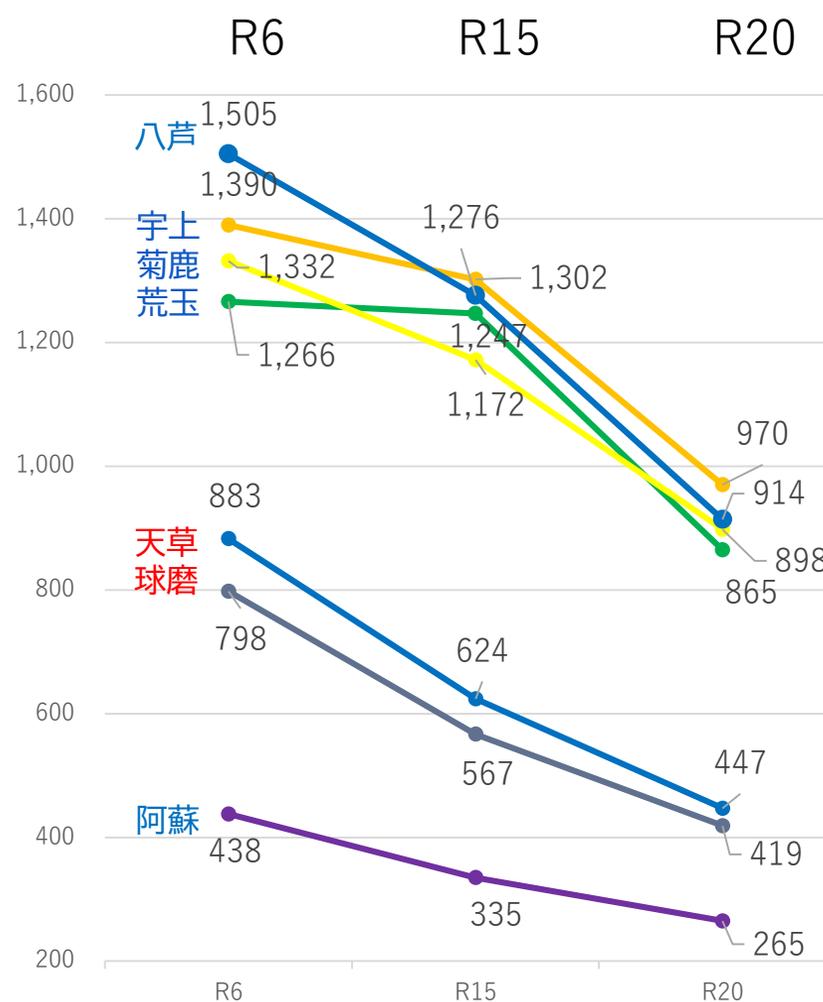


【R6比】

県全体で
▲29.6%

熊本学区
▲22.9%

旧学区（旧熊本学区以外）

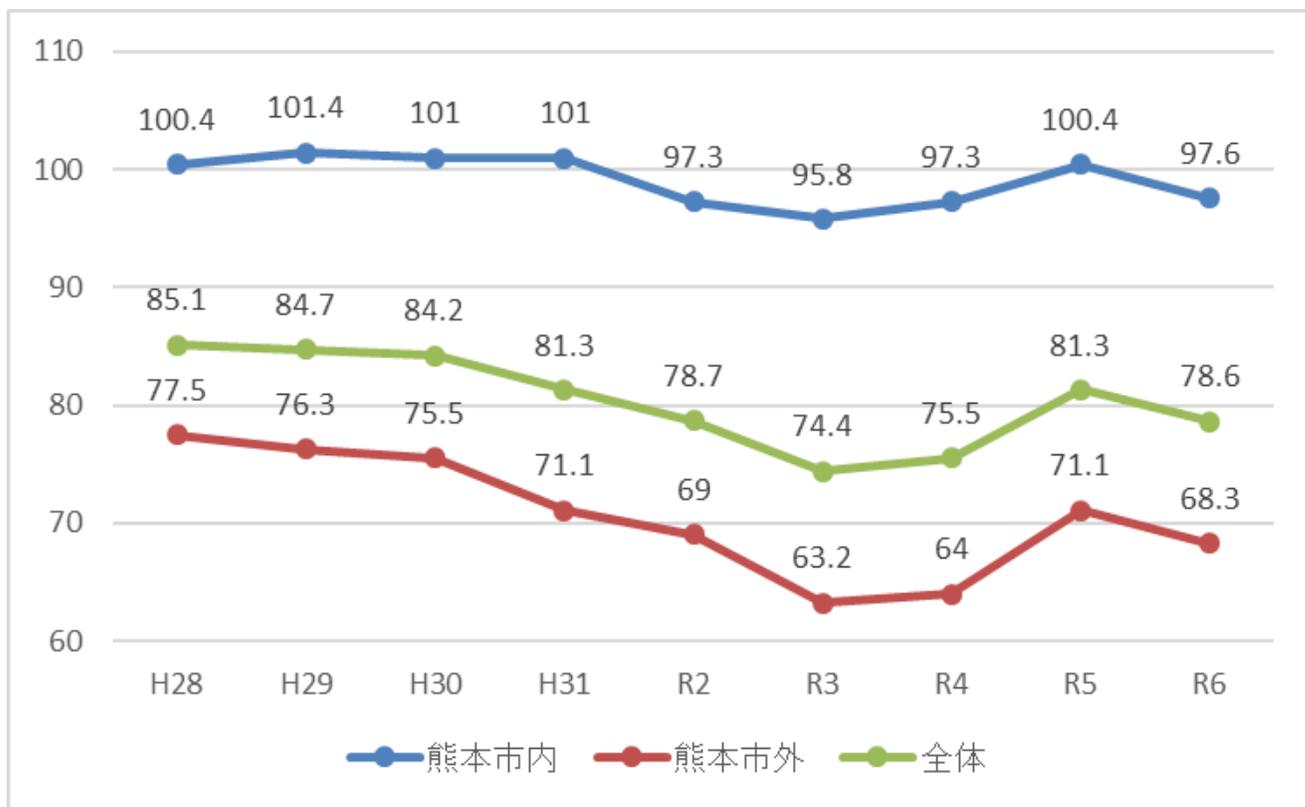


【R6比】

- 八芦 ▲39.3%
- 宇上 ▲30.2%
- 荒玉 ▲31.7%
- 菊鹿 ▲32.6%
- 天草 ▲49.4%
- 球磨 ▲47.5%
- 阿蘇 ▲39.5%

【参考資料 3】 熊本市外の高校における定員割れの進行

< 県立高校定員充足率の推移 >



< R6 年度 > (5月1日時点)

県立高校全体の定員充足率 78.6%

熊本市内： 97.6%

熊本市外： 68.3%

県立全**50校中39校 2,415人が定員割れ**
(H19：1,034人)

※一定数が私立を含む熊本市内へ流出

高1生 実員数の推移

単位:人

年 度	H19
公立実員	12,655
私立実員	5,681
公+私(計)	18,336

	R3	R4	R5	R6
公立実員	8,913	8,984	9,467	9,107
私立実員	5,483	5,735	5,414	5,556
公+私(計)	14,396	14,719	14,881	14,663

公立の割合	69.0%
私立の割合	31.0%

公立の割合	61.9%	61.0%	63.6%	62.1%
私立の割合	38.1%	39.0%	36.4%	37.9%

公立：私立 **7：3** (H19) → **6：4** (R6)

【参考資料4】 募集定員に関するデータ

県全体の状況

①県立高校
全体で現状
275クラス

■学校数とクラス数（全日制）

R 6 募集定員 (1学年あたりクラス数)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
該当学校数	3	2	7	7	7	7	7	1	5	4	50
該当クラス数	3	4	21	28	35	42	49	8	45	40	275

■募集定員と定員割れ

R 6 募集定員	R 6 定員割れ	
県立全日制	人数	クラス換算
11,000	▲2,415	▲60

②現状の
定員割れは
60クラス分
に相当

②現状の定員割れと
③R16の生徒減少分を合計すると
110クラス分に相当
※R20で考えると145クラス分

■生徒減少数の予測【R16】

中学校卒業生数			県立高校（全日制）入学見込	
R6.3卒(現高1生)	R16.3卒(現5歳)	R16 - R6 ①	人数 ①×0.7	クラス換算
16,332	13,460	▲2,872	▲2,010	▲50

③仮に県立への入学が全
体の7割と見込んだ場
合、50クラス分の減に
相当
※R20：84クラス分

県央学区の状況

■学校数とクラス数（全日制）

学区	R 6 学校数	R 6 学級数
旧熊本学区	1 1	9 6
旧宇上学区	6	2 7
県央学区計	1 7	1 2 3

①現状 1 2 3 クラス

■募集定員と定員割れ

学区	R 6 募集定員	R 6 定員割れ	
		人数	クラス換算
—	県立全日制		
旧熊本学区	3,840	▲133	▲3
旧宇上学区	1,080	▲395	▲10
県央学区計	4,920	▲528	▲13

②現状の定員割れは
1 3 クラス分に相当

■生徒減少数の予測【R 1 6】

学区	中学校卒業生数			県立高校（全日制）入学見込	
	R6.3卒(現高1生)	R16.3卒(現5歳)	R16 - R6 ①	人数 ①×0.7	クラス換算
旧熊本学区	8,720	7,646	▲1,074	▲752	▲19
旧宇上学区	1,390	1,147	▲243	▲170	▲4
県央学区計	10,110	8,793	▲1,317	▲922	▲23

②③合計
3 6 クラス分

③仮に県立への入学が全体の7割と見込んだ場合、
2 3 クラス分の減に相当

県北学区の状況

①現状69クラス

②現状の定員割れは
20クラス分に相当

②③合計
30クラス分

③仮に県立への
入学が全体の7割
と見込んだ場合、
10クラス分の
減に相当

■学校数とクラス数（全日制）

学区	R 6 学校数	R 6 学級数
旧荒玉学区	4	20
旧菊鹿学区	7	38
旧阿蘇学区	3	11
県北学区計	14	69

■募集定員と定員割れ

学区	R 6 募集定員	R 6 定員割れ	
		人数	クラス換算
—	県立全日制		
旧荒玉学区	800	▲237	▲6
旧菊鹿学区	1,520	▲356	▲9
旧阿蘇学区	440	▲209	▲5
県北学区計	2,760	▲802	▲20

■生徒減少数の予測【R16】

学区	中学校卒業生数			県立高校(全日制)入学見込	
	R6.3卒(現高1生)	R16.3卒(現5歳)	R16 - R6 ①	人数 ①×0.7	クラス換算
旧荒玉学区	1,266	1,066	▲200	▲140	▲4
旧菊鹿学区	1,332	1,124	▲208	▲146	▲4
旧阿蘇学区	438	296	▲142	▲99	▲2
県北学区計	3,036	2,486	▲550	▲385	▲10

県南学区の状況

①現状 83クラス

②現状の定員割れは
27クラス分に相当

②③合計
44クラス分

③仮に県立への
入学が全体の7割
と見込んだ場合、
17クラス分の
減に相当

学区	R 6 学校数	R 6 学級数
旧八芦学区	8	35
旧球磨学区	5	22
旧天草学区	6	26
県南学区計	19	83

■学校数とクラス数 (全日制)

■募集定員と定員割れ

学区	R 6 募集定員	R 6 定員割れ	
		人数	クラス換算
—	県立全日制		
旧八芦学区	1,400	▲397	▲10
旧球磨学区	880	▲250	▲6
旧天草学区	1,040	▲438	▲11
県南学区計	3,320	▲1,085	▲27

■生徒減少数の予測【R16】

学区	中学校卒業生数			県立高校(全日制)入学見込	
	R6.3卒(現高1生)	R16.3卒(現5歳)	R16 - R6 ①	人数 ①×0.7	クラス換算
旧八芦学区	1,505	1,119	▲386	▲270	▲7
旧球磨学区	798	481	▲317	▲222	▲5
旧天草学区	883	581	▲302	▲211	▲5
県南学区計	3,186	2,181	▲1,005	▲704	▲17

【参考資料5】 募集定員の見直し（学級減等）の考え方

あり方提言（R3.3）

方針

学科改編等による魅力化の取組と併せて、1学級（40人）以上の定員割れが一定期間継続している学校においては、これまでの状況等を踏まえ、入学希望者数等に応じた**学級減**による募集定員の見直しを図ることが必要。

実績

1学級（40人）以上の定員割れが5年以上継続している学校について、**学科改編と併せた学級減**を実施

合計△7学級△280人

高校	学級減を伴う学科改編（定員）	学級減	
菊池高校	普通科未来探究コース(40)・普通科地域探究コース(80)	R4	▲40
鹿本高校 <small>※H31 学科改編</small>	みらい創造科グローバル探究コース(40)・みらい創造科スポーツ健康科学コース(40)		▲40
松橋高校	普通科地域創造コース(80)	R5	▲40
岱志高校	普通科アドバンストコース(40)・普通科キャリアコース(40)		▲40
北稜高校	商業科(40)・園芸科(40)・造園科(40)・家政科(40)		▲40
八代農業高校	食農創造科(40)・生産土木科(40)・家庭科(40)		▲40
阿蘇中央高校	探究科(40)・農と食の科学科(40)・緑と水の科学科(40)	R7	▲40

【参考資料 6】 1 学年あたりの学級数（全国比）

< R 5 年度 >

9 学級

埼玉(25)・神奈川(24)・愛知(23)・大阪(14)・東京(7) 等

10 学級

神奈川(8)・福岡(7)・愛知(4)・石川(2)・沖縄(2)

11 学級

福岡(8)・和歌山(1)・徳島(1)

() 書きは該当学校数

学級数	全国	熊本
	R5	R5
1	148	3
2	256	2
3	316	7
4	464	7
5	487	7
6	562	7
7	355	7
8	349	1
9	150	5
10	27	4
11	10	0
全学校数	3,126	50
	前年比 ▲ 23	0
全クラス数	16,316	275
	前年比 ▲ 105	▲ 4
1 校平均	5.22	5.50
都道府県立定員数	641,791	11,000
中卒者数	1,092,647	16,536

※R5富山県調査を基に熊本県作成

【参考資料 7】 通学区域に関する状況

旧熊本学区（熊本市内）への流出状況

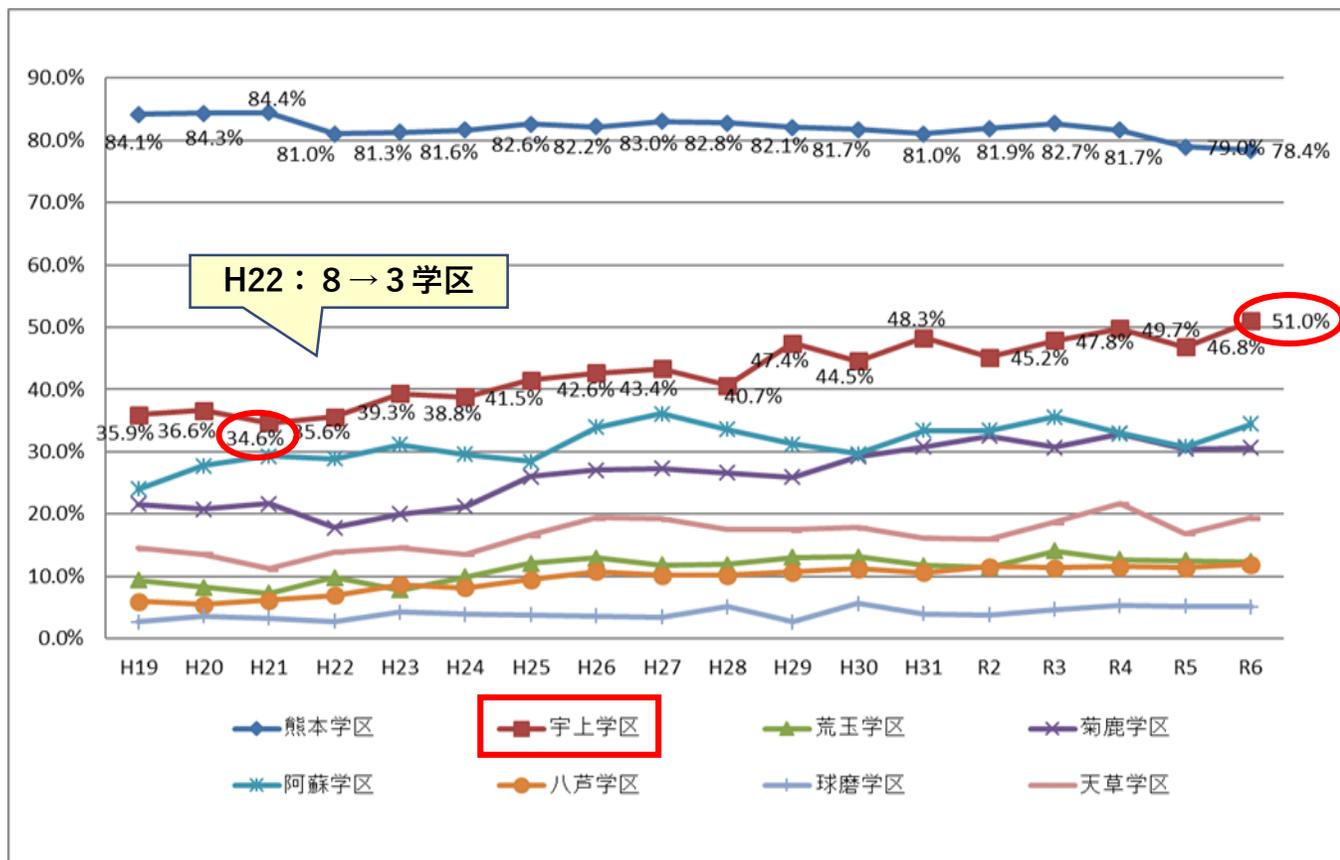
- 学区拡大により現県央学区となった旧宇上学区から旧熊本学区（熊本市内）への流出は引き続き増加傾向。

R6：16.4%増(H21比)

各都道府県の状況

H19 再編計画策定時	24都県で全県一区又はその方向、 10県で拡大方向
H30 R2あり方検討時	25都府県で全県一区
R6 今回	27都府県で全県一区

旧学区から旧熊本学区への進学者数（公私立・高専）



学区外枠の状況（熊本市内7校普通科）

・学区外受検者の割合（平均） R6：13.6% R5：12.1% R4：12.9% ※7校中3校が13%に達している

・学区外合格者の割合（平均） R6：8.5% R5：8.7% R4：8.9%

【参考資料 8】 分校化又は統廃合の基準について

本県の再編整備等基本計画（H19.10）における「分校化又は統廃合の基準」

(ア) 次の基準を満たし、かつ今後も入学者の増加が見込まれない 1 学年 2 学級の学校 にあつては、原則として 分校化又は統廃合 を行う。

：入学者が、3 年連続して 1 学級分以下 の場合

(イ) 次の基準を満たし、かつ今後も入学者の増加が見込まれない 1 学年 1 学級の学校 にあつては、原則として 統廃合 を行う。

：入学者が、3 年連続して収容定員の 2 分の 1 未満 の場合

【参考資料 9】 県立高校あり方検討会の基本的な考え方（コンセプト）

- ① 高校生、誰一人取り残すことなく、未来の社会を生き抜く力を身につけられるようにする。
- ② どこでも高校教育が受けられるよう、できる限り地域に高校を残していく。
- ③ 人口減少時代の「地域における高校のあり方」について、多様な主体（子ども・保護者・教職員・地域）とともに考え、より魅力ある学校を創り続ける。
- ④ そのために、地域と一体の協働体制を構築することが、地方創生にもつながる。

熊本県立高校の魅力 発信中！！

新学科設置！ (R7入学生から)

阿蘇中央高校

- 自治体・企業等と連携しスマート産業の学びを導入！
- 探究活動を充実！多様な他者と協働した主体的な学びにより変化に対応できる力を育成します！
- 学科の枠組みを維持した単位制を採用し、多様な学びをサポートします！



普通科(40名)
New 探究科(40名)
 総合ビジネス学科(40名)
New 農と食の科学科(40名)
New 緑と水の科学科(40名)
 社会福祉科(40名)

水俣高校

- 半導体企業の施設を活用し、共同研究・開発・研修を取り入れた実践的な学びの導入による半導体関連人材の育成を行います！
- 基礎技術の習得と建築・建設分野にDXの視点を取り入れた学びを導入します！



普通科(120名)
 商業科(40名)
 機械科(40名)
New 半導体情報科(20名)
New 建築科(20名)

最近の新設学科

◇R5入学生から

高森高校 ・普通科グローバル探究コース(40名)
 ・マンガ学科(40名)
 八代農業高校 ・食農創造科(40名)
 ・生産土木科(40名)
 ・家庭科(40名)

岱志高校 ・普通科アドバンスコース(40名)
 ・普通科キャリアコース(40名)

北稜高校 ・商業科(40名)
 ・園芸科(40名)
 ・造園科(40名)
 ・家政科(40名)

松橋高校 ・普通科地域創造コース(80名)

熊本工業高校 ・テキスタイルデザイン科(40名)

スポーツコース 「体育コース」から名称変更(下記参照)

◇R4入学生から

菊池高校 ・普通科未来探究コース(40名)
 ・普通科地域探究コース(80名)

企業等と連携した学びを導入！

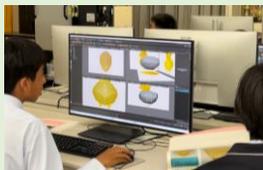
天草工業高校 情報技術科CG系列

現役クリエイターがコンピュータグラフィックスの最新技術を直接指導！ゲームやアニメなどのコンテンツ産業で需要の高い「CGデザイナー」の育成を目指します！

連携先：天草市、㈱ORENDA WORLD、(一社)デジタルアート天草

目指す職業

キャラクターモデラー、
背景モデラー、アニメーター、
アートディレクター、グラフィックエンジニア、
映像作家、イラストレーター



高森高校 マンガ学科

公立高校で全国初となるマンガ学科を令和5年度に設置！マンガ家やマンガ編集者から直接指導を受けながら、プロデビューを目指します！

連携先：高森町、㈱コアミックス

マンガ学科紹介動画



制作：高森町



天草拓心高校 商業科

SNSマーケティングのプロから最先端の手法を学び、地元企業の商品で実践！ふるさと納税サイトで特産品を売り込み、地域活性化に貢献することを目指します！

連携先：天草市、㈱Senjin Holdings、天草市商工会青年部

取組の様子



制作：天草市(天草Cityチャンネル)



人吉高校五木分校

東大先端研との連携により、最先端の科学的手法と五木村の地域資源とを掛け合わせた、五木分校独自の課題解決型の探究学習を実施しています！

連携先：五木村、東京大学先端科学技術研究センター

活動実績

- ・五木クエスト開催(五木新緑まつり)
- ・共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)拠点連携シンポジウム参加
- ・地域巡検



マイスター・ハイスクール

県内の産学官金が強力に連携！時代に即したキャリア教育やカリキュラム刷新などに取組み、将来の県産業界を担う実践的な人材の育成を目指します！

連携先：熊本県情報サービス産業協会、熊本県工業連合会、肥後銀行、八代市、玉名市、阿蘇市、天草市他

拠点校

玉名工業高校
 阿蘇中央高校
 八代工業高校
 天草工業高校



スポーツコース

大学等と連携しながら「する、みる、支える、知る」といったスポーツへの多様な関わり方を実践する取組を充実！トップアスリートの育成やスポーツを支える人材の育成を目指します！

連携先：熊本保健科学大学

該当校

岱志高校、大津高校
 熊本西高校、八代東高校
 南稜高校、鹿本高校(みらい創造科スポーツ健康科学コース)



問い合わせ先：熊本県教育庁高校教育課高校魅力化推進室 TEL 096-333-2684

高校魅力化推進室公式SNSアカウント



フォローお願いします！

ワンストップで
 県立高校を比較！

熊本県立高校検索ガイド



「県立高校 学びの祭典」

県立高校全50校が、日頃の取組の成果を発表する「県立高校 学びの祭典」を今年度も開催いたします。小中学生や保護者のみなさま、小中学校教育関係者のみなさま、地域のみなさま、各方面からのご参加お待ちしております！

○日時: 令和6年12月21日(土) 10時~15時

○会場: グランメッセ熊本

熊本県上益城郡益城町福富1010

○主催: 熊本県教育委員会

○内容: 探究活動に関するポスター発表

探究活動に関するステージ発表(口頭発表)

学校取組紹介

連携大学、企業等の展示

科学展(小中高の部)優秀作品の展示

入場無料!
※申込不要



◆ステージ発表&書道パフォーマンス



地域や企業と連携した研究など、様々な取組を発表

◆学校取組紹介



◆ポスター発表

自分の研究について説明



学びの祭典HP
QR読み取り
またはタップ
でアクセス→



学校紹介、物品販売、
ロボット操作体験もあるよ



令和9年(2027年)4月に高校へ入学する生徒から (令和6年度(2024年度)の中学校1年生が受検する高校入試から) 熊本県の県立高校入試が変わります

新しい入試のポイント



- ▶ 現在の前期(特色)選抜と後期(一般)選抜を1回にまとめて、「A日程」として行います。また、現在の二次募集を「B日程」として行います。
- ▶ A日程では、県立高校のすべての学科・コースで「特色選抜」と「一般選抜」を行います。
- ▶ A日程では、すべての受検生が5教科の学力検査(国語・社会・数学・理科・英語)を受検します。また、志望する学科・コースによっては、面接や実技検査などの独自検査も受検します。
- ▶ A日程では、1日目に5教科の学力検査を行い、2日目に独自検査を行います。

現在の入試

令和8年4月入学生まで

新しい入試

令和9年(2027年)4月入学生から

前期(特色)選抜

中高一貫教育
(連携型)
に係る入学者選抜

後期(一般)選抜

※追検査を含む。



©2010熊本県くまモン

二次募集

選抜の種類(募集人員)

特色選抜(募集定員の10%~50%)

5教科の学力検査、調査書、独自検査の合計点
を使って選抜します。
※独自検査を行わない学科・コースもあります。

一般選抜(募集定員の50%~90%)

5教科の学力検査、調査書を使って選抜します。
※実技検査を行う学科・コースもあります。

検査の内容

1日目: 学力検査

(国語、社会、数学、理科、英語)

2日目: 独自検査

(面接、作文、実技検査、など)

※病気等やむを得ない事情で受検できなかった
場合は、後日、追検査を行います。

A
日
程

B
日
程

総合選抜

A日程の選抜で合格者数が募集定員に満たない
学科・コースで行います。



©2010熊本県くまモン

新しい入試に関する



Q 特色選抜の独自検査にはどのようなものがありますか？

A 面接、小論文、実技検査、実験、自己表現、総合的な学習の時間の成果の発表に関するものなどがあり、どの検査を行うかは各高校が定めます。

Q 特色選抜と一般選抜で異なる高校に出願することはできますか？

A 特色選抜と一般選抜で異なる高校に出願することはできません。同じ高校に出願することになります。

Q 特色選抜や一般選抜では何が評価されますか？

A 特色選抜では、調査書の内容や5教科の学力検査、独自検査の結果を評価します。
(ただし、独自検査については、実施しない学科・コースもあります)
一般選抜では、調査書の内容や5教科の学力検査の結果を評価します。
(一部の学科・コースでは、実技検査の結果もあわせて評価します)。

Q A日程は、何日間行われますか？

A 現在の入試では、5教科(国語、社会、数学、理科、英語)の学力検査を2日間に分けて行っていますが、新しい入試のA日程では、1日目に5教科すべての学力検査を行い、2日目に独自検査を行います。

Q 特色選抜は、すべての学科・コースで行われますか？

A 現在の入試では、多くの普通科(コースを除く)で前期(特色)選抜を行っていませんでしたが、新しい入試では、すべての学科・コースで特色選抜を行います。

Q 高校入試に向けて、どのような準備をすればよいですか？

A 新しい入試においても、これまでどおり学力検査の点数だけでなく、中学校での様々な活動の様子や成果も評価しますので、中学校での勉強や学校生活にしっかり取り組んでください。

Q 県立高校の学科・コースをもっと詳しく知る方法がありますか？

A 「熊本県立高校検索ガイド」では、学科・コース、なりたい職業や制服など、さまざまな条件で検索したり、複数の高校を比較したりすることができます。ぜひ、活用してみてください。
【URL】<https://kumamoto-pref-hs.jp/>



Q 新しい入試についてもっと詳しく知る方法がありますか？

A みなさんが学科・コースの特色を詳しく知った上で受検先を選択できるように、今後、様々な情報を熊本県教育委員会のホームページで公表していきます。
【URL】<https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/list189.html>



＞ 問合せ先 **熊本県教育庁県立学校教育局高校教育課**

(電話番号)096-333-2685 (電子メール)koukoukyouiku@pref.kumamoto.lg.jp

貸付型の奨学金 のご案内

令和7年度（2025年度） 熊本県育英資金在学募集

高校進学の前に！
高校進学の後も！

育英資金の予約募集とはなんですか？



育英資金とは、無利子の貸付型奨学金です。
（将来返還が必要です。）
予約募集とは、高校入学前に申請の手続きをし、入学後すぐに奨学金が借りられるようにするものです。

いつからどのくらい借りられますか？



高校進学後の9月末から、毎月定額（8,000円～35,000円）を最大5年間借りられます。（金額・貸与期間は進学先により異なります。）

*右上表図参照

他の奨学金との併用はできますか？



貸与型の奨学金との併用はできません。
※併願はできますが、1つのみ選択することになります。

貸与金額（月額）：各区分の金額のうち1つを選択できます。

	区 分	金 額
国公立	自宅通学	18,000円、13,000円、8,000円
	自宅外通学	23,000円、18,000円、13,000円
私 立	自宅通学	30,000円、20,000円、10,000円
	自宅外通学	35,000円、25,000円、15,000円

貸与期間：進学先の正規の修業年限の終期までです。

高等学校：3～5年間 高等専門学校：5年間

専修学校：1～4年間 ※いずれも課程によって異なります。

申請方法

在籍する学校の奨学金担当者へ連絡してください。



書類の提出締切

6月初旬頃（学校によって異なります。）

※その他詳細については、学校から配付される募集のしおりをご覧ください。

※募集のしおりや申請書類は熊本県教育委員会ホームページにも掲載しています。

問い合わせ先：高校教育課（096-333-2675）

令和6年度(2024年度)熊本県奨学のための給付金

授業料以外の教育費を
支援します!

- 給付金は支給されるものであり、**返還の必要はありません。**
- 奨学金や就学支援金(授業料)と一緒に利用することができます。

★どんな人が給付を受けられるの?

要件(すべてを満たす世帯が対象)	
保護者	<input type="checkbox"/> ①生活保護(生業扶助)受給世帯又は ②非課税世帯(道府県民税所得割及び市町村民税所得割)
	<input type="checkbox"/> 熊本県内に在住 ※生徒が熊本県外の学校に在籍でもOK
生徒	<input type="checkbox"/> 高等学校等就学支援金の対象校に在学している
	<input type="checkbox"/> 児童福祉法の措置費等の支給を受けていない

①や②に該当しないが、家計急変により減収した世帯でも給付を受けられることがあります。



★給付額(年額)はいくら? ※毎年度金額が変更になる可能性があります。

	全日制・定時制	通信制	専攻科
生活保護(生業扶助)受給世帯	32,300円	32,300円	50,500円
非課税世帯(第1子)	122,100円	50,500円	
非課税世帯(第2子)	143,700円		

★申請時期や提出先は?

申請時期	7~1月頃 ※メ切は学校により異なります。
提出先	各学校へ

この記事に関する問い合わせ先: 高校教育課(096-333-2675)

※私立高校については、私学振興課(096-333-2064)へお問い合わせください。